

蓄電が 支える 地域未来

定置用蓄電システムは、
再生可能エネルギー由来のエネルギー貯蔵として、
日本国内で導入が進んでいます。
エネルギー供給の安定化と災害対策用として
使用される蓄電システムの取組と研究開発の現状、
国の動向について、有識者から学んでみませんか？

第3回 GX 懇談会

2026
3.5^{THU}
13:30 ─ 17:30

京王プラザホテル札幌

北海道札幌市中央区北5条西7丁目2番地1

定 員 / 100名 参加無料

開催方式 / 対面のみ

申込締切 / 3.2(月) 17:00



お申し込みはこちら



定置用蓄電システムと地域エネルギーの転換

政策・R&D・大規模案件・自治体実装の視点から

GXの実現に向けて、再生可能エネルギーの主力電源化と電力レジリエンスの強化が同時に求められるなか、その鍵の一つが、再生可能エネルギー由来の電力を貯蔵・活用できる定置用蓄電システムです。本懇談会では、国の政策動向や公的研究開発プロジェクト、北海道大学における電池材料・デバイス研究、企業による大規模系統用蓄電プロジェクト、防災・復興を支える自治体の地域マイクログリッドの取組を一体的に取り上げ、蓄電池を軸としたGXの「現状」と「次の一手」を多面的に整理します。

13:30-13:35

1 開会 挨拶／趣旨説明 (5分)

中山 隆治

北海道大学 GX先導研究センター・企画室長／工学研究院・特任教授

2 基調講演

13:35-14:00

(25分(録画での講演))

課長

山田 努氏

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギーシステム課

定置用蓄電システム普及に向けた現状と課題、
今後の方向性

14:00-14:30

(25分+質疑5分)

主査・プロジェクトマネージャー

小笠原 有香氏

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生可能エネルギー部 系統連系チーム

定置用蓄電システムに関するNEDOの取組と
今後の方向性

3 講演 (20分+質疑5分)

14:30-14:55

小林 弘明

北海道大学 理学研究院・准教授

蓄電池の資源制約フリーを実現する正極材料

14:55-15:20

浦木 康光

北海道大学 農学研究院・教授

木材成分から蓄電デバイスを作る
ーバイオマス由来材料によるサステナブル蓄電を目指してー

15:20-15:40

4 休憩

主催 北海道大学 グリーントランスフォーメーション(GX)先導研究センター

5 講演 (20分+質疑5分)

15:40-16:05

送変電業務部長

松尾 敏氏

北海道北部風力送電株式会社

北海道豊富町

北豊富変電所蓄電池システムの運用と社会的意義(仮)

16:05-16:30

電力ソリューションセクション・SL代行／グループリーダー

足永 吉誕生氏

千代田化工建設株式会社
地球環境プロジェクト事業本部電力・エネルギーシステムプロジェクト部

北海道豊富町

北豊富変電所蓄電池システムの構築と保守(仮)

16:30-16:55

主任

渡邊 健太郎氏

宮城県東松島市 SDGs・脱炭素社会推進課

東松島市のスマート防災エコタウン及び
脱炭素先行地域の取組について

6 クロージング (5分)

16:55-17:00

中山 隆治

北海道大学 GX先導研究センター・企画室長／工学研究院・特任教授

7 名刺交換会 (30分程度)

17:00-17:30

産官学・自治体の情報交換・
共同研究のシーズ相談

